

# ひびき

発行会  
シャープ社友会  
島支部



## 『新春を迎え』

支部の皆様、明けまして

おめでとございます。

今年は何としても良い年であることを祈っております。

ほんの僅かな会員でスタートした支部の運営に対し、社友会本部・事業本部の絶大なご支援を受け、そのご好意に酬いるための支部幹事の努力により輝かしい新年を迎えました。

思えば、昨年は未曾有の大変動の年でした。円高により自動車・電子工業など輸出関連企業は多大の被害を受け、倒産・人員整理と日本経済の根底を揺るがす状況になり、更に天明以来の大凶作に農村の被害も大きく、消費全体が低迷して果たして日本経済の回復なるか本当に重要な階段に立っています。

低迷する電機業界の中で、たゞシャープのみ安定しているのは何故かと考えてみると、経営理念に基づく経営信条の忠実なる実施にあったと思います。

この不況も、夜明けのない夜はないの言葉通り、いつか明るくなることでしょう。

私達はいつも唱和した経営信条を思い起こし、これからの余生を送りたいと思います。

支部長 石井寛一記



シャープ・三原保養所にて  
第一回秋季懇親会記念写真

## 『社友会・広島支部 第一回秋季懇親会』

「シャープ・三原保養所から」

国宝とロマンの島・大三島へ」

平成五年度秋季懇親会は秋晴れの十月十九日二十日に実施しました。

十九日午後二時三十分三台の車に分乗して、会社をスタート。(参加者は十一名)

ドライバーは中尾さん・新田さん・阿川さんのベテランにお願いし一路保養所へ、国道二号線の交通渋滞の名所三原市内も難無く通過し、三原港へ到着しカー・フェリーで佐木島へ、保養所へは五時三十分に着く。

早速、全員集合して今後の会運営と、懇親会旅行費用の別途積立や、明日の旅程について話し合う当初の予定では、生口島瀬戸田・耕三寺の参詣であったが急遽変更し、大三島・大山神社へ行くことにする、この辺の臨機応変は少人数の有利さか?

夕食時には、シャープ・ワープロ書院で作成された社友会・広島支部秋季懇親会の横断幕を宴会場の壁に張り気勢を上げる。

料理は、三原保養所名物の鯛の舟造りに俄然食卓の上は豪華で賑やかになる。

石井支部長より清酒・阿川さんよりブランドの差し入れがあり、宴はさらに盛り上がる、「談論風発」時間の経つのを忘れる。

食後はサロンへ移動、木船さん準備万端のカラオケ大会へ、歌詞は忘れてもレーザー・カラオケだから安心、次々に出る、古い唄・新しい歌、酒に酔い・歌に酔い、マイクも休む暇がない、そのマイクも疲れ果てたところで、お開きは午後十時過ぎ。

翌日は夜明け前から二人・三人と起き出して来て潮騒を聞きながらまた薄暗い島影を浮き上がらせて昇る朝日待つ、絵心があれば筆を取りたくなるような瀬戸の海にしばし見とれる。朝食は予定を早めてもらって七時三十分皆元氣一杯、食欲旺盛・おひつが直ぐに空になって

しまう。そして大三島へ・・・

今、瀬戸内海は本四連絡架橋工事が島から島へ急ピッチで進んでいる、因島大橋を渡り生口島から大三島へのフェリー乗場・垂井港へ着く、此処で約一時間の乗船待ち、港は秋の日差しと穏やかな海・防波堤の下を覗くと小魚の群れが泳いでいる、売店のおばさんの話し好きは仲々終わりそうにない。

何とものんびりとしたこの風景の中に居る一刻が楽しい。

大山神社は若子海映の中央に位置する島々に囲まれた大三島の中にある、境内は日本最古の原始林社叢の楠群に覆われている。

此処は又、国宝・重文の甲冑文化財の数多いことでも知られている。

- 国宝 赤絲威鎧大袖付 源 義経 奉納
- 国宝 紺絲威鎧兜大袖付 河野通信 奉納
- 国宝 牡丹唐草文兵庫鎖大刀拵 護良親王 奉納

等々、多数の文化財が収められている、又、瀬戸内のジャンヌダルク「鶴姫」の物語など話題に事欠かない。

大桶の下で記念写真を撮ったり、おみくじを引いたり境内を各自それぞれ自由に散策する。昼食は神社前の食堂で、全員が入ると殆ど満席になってしまう小さな店。

三原に所用の石井支部長を井口港に見送って忠海行きの船の出る盛港へ着く、港の無人店で超早生のみかんを買ってみるが、まだまだ甘さ不足、それでも直ぐに売切れてしまう。

忠海には午後三時三十分に着、全員疲れも見せず、帰りの車は紅葉にはまだ少し早い山陽道を快適に走る。

会社へ帰着四時三十分 久しぶりに揃っての旅に皆満足して次回の行き先の話が弾む、事故もなく、若さを取り戻しての和氣藹々の楽しい旅行、第一回秋季懇親会は大成功でした。

山田 順記



『随筆』

明けましてお目出とうございます。毎年のことながらこの言葉を聞き、年賀状を見ると今年こそはと自分自身に新たな決意をさせます。

『門松や冥土の旅の一里塚』と名句にある通り、年々、人は冥土に近づき、毎年ひとつずつ年を減る(とる)事にして、日々の行動をする事にした。

六十五歳位迄は仕事を続けたいという人は非常に多い、退職すると、再就職は仲々難しく、それを口実に毎日を家でゴロゴロ・テレビを観て、新聞を読むことが、日課になっている。気分転換にたまに犬を散歩に連れ出す何と老人臭い生活・・・反省。

半世紀近く離れていた土地(境港)に帰ると忘れて居た事や、新しいことに出逢い、今様・浦島太郎の感じがする。大都会(?)・広島より山陰の片田舎に移り住むと生活環境が変わる、何が変わるか・何となく変わる。街全体がゆったりとしている感じだ、街も色々活性化のため、観光・文化施設建設に力を入れている人が少なく、盛り上がり欠けて見える、人出と言えば、近くの海産物直売センターは連日観光バスや、マイカーで賑わっている。

先日当市の港は貿易港として二万隻目の貿易船の入港があったが、最近では景気の関係か入港も少ないが魚の水揚げは「アジ」が豊漁のようで、今年も日本一の漁獲量となりそう。

近郊には、大山・皆生温泉・関の五本松・少し足を伸ばすと、一畑薬師・出雲大社・玉造温泉が有名な観光地、その他、井上蹟記念館や、冬鳥の飛来地も近い。

最近、街の真ん中辺りに「妖怪集団」が出現し層間から鬼太郎音頭で踊っている。

今年、更に集団が増える噂されている、この楽しい妖怪達が、好景気を連れて来てくれる事を願って、今年も元気に楽しく生きて行こうと思えます。

会員の皆様、今年も元気で頑張りましょう。

(我が故郷・境港より) 片桐 縣一記

『同好会活動の』

『拡大に期待』

新年明けましておめでとうございませう。昨年は会員の皆様方より、ご支援ご協力をいただき誠に有難うございました。

平成五年七月に、社友会・広島支部結成により同好会が発足し各グループでの活動が活発に実施されました。これも皆様方のご協力の賜物であり紙面を借りてお礼申し上げます。

社友会・広島支部の発足と同時に同好会の活動の在り方について種々検討を重ねながらの進行を図って参りました。本年は同好会の内容充実と拡大を図り、更に楽しく有意義なものにして行きたいと考えております。関係各位のご支援ご指導を賜りますようお願い致します。

尚、同好会に対する積極的なご意見ご提案をお待ちしております。

同好会統括幹事 新田 保記

『ワープロを』

『受講して』

私は、東広島市の熟年大学ワープロ教室を受講しており、且つ、社友会・ワープロ同好会の研修にも参加させて頂いております。双方のワープロ研修回数は、1ヶ月で4回の出席となり、受講当初は、簡単な文書・ハガキ等の入力程度でしたが、現在は各種データ・文書の作成は勿論、複雑な帳票・図表等の作成も出来るように上達しました。

熟年大学での学習以外のことは同好会の講師中尾氏にご指導頂き、楽しい一時を過ごしております。当、同好会のワープロ研修生は気儘勝手な生徒ばかりで講師も大変なことと思いが、本年もご指導の程宜しくお願い致します。

本年は自分の持っているワープロを100%使いこなせるよう、挑戦して見ようと決意しております。

T・N 生

『定年四年生 VS 社友会』

定年退職後、四度目の正月を迎え年月の経過が年を経ると共に一段と早くなったように感じ、それは、会社勤務時の定められた枠より、定年と共にその枠を飛び出し一日の時間を趣味の実行・社友会の各種活動熟年大学受講等、氣に手足を伸ばすためか、一日・一ヶ月・いや一年が駆け足の様過ぎて行く。

東広島での生活には車は欠くことの出来ない交通器具、妻は残念ながら自動車免許証を取得する機会を逸したため妻の外出(食料品の買い出し・お友達とのショッピング・時には贅沢なクルマ・その他)にはお抱え運転手の役目・だが、アッシー君でも、べたべたした濡れ落葉でもない自分自身に言い聞かせる。

昨年七月念願の社友会・広島支部が会社のご厚意と、社友会本部のご指導により、立派な社友会室を提供頂くと共に、正式に発足することが出来約半年経過定年退職した我々OBの厚顔の輩も理由もなく再々会社を訪問することには何故か敷居が高く感じられ、今まで何となく疎遠になりがちであった方々とも社友会室が出来たことにより、其の危惧も無くなり気心の知れた会員同志・多少の悪口雑言の語り口も、より一層親しみを増す間柄となり、昨年は、広島支部の誕生への取組みの年であったが、今年は、誕生したことが、会員・更には今後会員となられる方々に喜ばれる会であり援助頂いた会社・本部に少しでも貢献出来る会運営が出来れば、会員相互に連携を取り努力したいものです。

I・N 記

『俳句』

秋祭り 神楽の鬼が 子を泣かせ  
新築の 小さな庭に 楓植え  
張り替えた 障子に猫が 手を伸ばし

松岡 良明作

『四季の風景』

スケッチを描く楽しさ  
一度やってみなさい

何か会報に投稿して下さいとの依頼で、私事で申し訳ありませんが、私、趣味は、広く・薄く・殆どやりますが、此れと言って自慢できる趣味は一件もありません、その中の一件に、絵に少しばかり興味があり、それは、一昔前の話で、何度となく県展に出品し、何度も落選・そのうち何点か入選致しました。入選したときの喜び、本人でないと分からないと思います。だが、あるとき、自分の描いた絵に自信がなくなり、その後一切絵筆を執ることは今日までありませんでした。風景スケッチを求め自分流の作品を創作して、楽しみたいと、心を入れ替えました。

皆様も、大なり、小なり、興味があるものと思えます。講師に指導を受けるのも由、下手は下手なりに、伸び伸び描くも由、まず、描くことから始めて下さい、楽しいものですよ。  
『好きこそ、物の上手なれ』

木船 久記





### 『野菜スープと健康法』

六十歳の定年は、人生の折返点を大きく過ぎた終盤の年齢である。

定年後は残された人生を如何にして健康な生活を送るかにについて、誰も考えているところである。健康であって始めて、心豊かな人生を送ることが出来る。

ある人は健康教室に通い心身のリフレッシュある人は万歩計を腰に風雨に拘わらず毎日努力するもの

更にはジョギングで汗を流すもの等、多くの人は老後を元気に生きようと考え努力している。

健康の基本は、毎日の食生活を考え、規則正しい生活をするにあるが、こゝに現在静かなブームを起している野菜スープのことを紹介し皆様の健康にお役に立てたいと思う。

このスープを飲用することにより現在難病とされている数々の病状を治すことが出来ることとされ、私も二年前から成人病の予防の積りで飲用しているが身体の調子がよい、このことについて先日も民放が特集で放映し、健康雑誌「安心」「壮快」にも掲載され大きな反響を及んでいるため皆様も既に「ご存じのことと思ひますが、東京方面では野菜スープの素をパックにして売っておるとか。特にこの開発者の記述によると現在医学では治る可能性の少ないとされている「ガン」が、九十九%治ると言うことには全くの驚き・・・

開発者は、野菜が教えてくれる神秘「生命の恵みへの招待」の著者 Dr、ロバート、ジョーカーアーンズ、クツイン氏 同氏の、テキストによると、次の表の病状・症状が治るとされる、

私は、知人に薦めておるが、なんとなく身体の調子が良い、元気が出たという人が多い、予防のため続けていると言う者もおり根気よく続けることが大事ではないか、友人の奥さんが子宮

ガンで入院、主人が毎日お茶のかわりにポットに入れ運び効果があつたと聞く。効き目の理由はハッキリしないが、平素、野菜を十分とっている積もりでもまだまだ不足している人には良いのではないかと考えられておるようだ。

又、このスープを続けておると、頭髮や爪がよく伸びると言うこともあり年齢も二十歳位は若返るとテキストに記されているので皆様も一度試してみられてはどうかと思う。

スーの素材は日常手に入り易い野菜ばかり

① 自然乾燥しいたけ  
② 大根  
③ 大根の葉(季節により入手出来にくい)  
④ 人参  
⑤ ごぼう(皮つきのまゝ)

特別の物はない、手近に入手出来るものばかり、又高価なものでもない。

開発者の記述によると、野菜スープは、体細胞の増殖・強化を促すと共に、白血球・血小板の増強と細胞の働きを三倍の勢いで殖やし強力な人体を作るとしており。

健康雑誌「安心」によると野菜を長時間煮詰めることによりスープ内に出来た成分によって体の自然治癒力を強化し病気を治すのではないかと説明している。

◎野菜スープで治ると言われる病状・症状

病状・症状など	効果の日数
ガン細胞の動き	3日で止まる
腫瘍ガン	1ヵ月で回復
胃・十二指腸潰瘍、胃のポリープ	3~10日で治りだし、30日で機能が回復
肝硬変、肝ガン、高血圧症、ひざの関節炎	1ヵ月で回復
白内障	4ヵ月で回復
その他の眼病	1~4ヵ月で回復
不眠症、疲労	10~20日で回復
アトピー性皮膚炎	4~7ヵ月で回復
老人性皮膚死斑	1~3ヵ月で回復
抜け毛	6~12ヵ月で5,000~10,000本ふえる
神経痛、リウマチ、重いひざの関節炎	6~12ヵ月で回復
脳血栓、発作2回以上の歩行、言語障害	2~12ヵ月でほとんど改善
脳軟化・脳腫瘍	1ヵ月で治り出し2~3ヵ月で回復
心臓病・不整脈	20日で回復
動・静脈血管穴	1ヵ月で回復

野菜スープを一つの健康法として取り入れても良いのではと思ひあえて紹介しました。根気よく作って飲むことが良いとのことです。

小島 記

「テキスト申込先」  
〒五〇〇 岐阜市中央郵便局私書箱 七十八号

郵便振替口座 名古屋 五一一〇七七三二  
予防医学化学研究社宛

### 『静かなドライブ コース』紹介

ドライブと言うと何か遠出をする事のように思われますが、東広島より福山まで気軽にのんびりコースを紹介いたします。

途中には、中国地区の名所を三ヶ所も見られます、福山まで高速道や渋滞の激しい国道二号线も通らず、裏コースを行きます。

先ず、西条より国道三七五号を北上し、河内町、大和町、甲山町を通り御調郡久井町に行きます、ここに久井の岩海があります、この岩海は山のなだらかな斜面に、大きな石が上から下まで川の流れようにころがっており、自然の大変珍しい風景が見られます。

次に、府中町に入り、此処にある・首無し地蔵にお参りしては、道順は、御調町より府中町に行く県道の府中町手前(上下町に行く道)案内板があります、この首なし地蔵は、平日でも信者の人達が大勢お参りされています。

一本尊の地蔵様は呼び名のとおり・首がありませんでした。参拝が済みましたら、府中町より福山に向かいます。福山には美術館もありま



すが、自動車博物館(FACM)は、案内面白いと思ひます、此処は、昭和初期の車から三十八年位の懐かしい自動車があり、これらはまだ走れる車もあります。

所在地は、福山城の裏になりますが、此処にも案内板がありますので、すぐに行くことができます。

自動車の好きな人は是非どうぞ。(入場料・七百円)福山からの帰路は、山陽自動車道・福山東ICから西条IC迄走るとよいでしょう、それとも国道二号线を「のりり・くらり」と亀の如く帰るのも貴方の自由です二号线を走って竹原簡保センターで一風呂浴びるのも一案です

松岡 良明 記





『宮岡勲 高齢化社会』

皆様、新年明けましておめでとうございます。近年経済大国と言われました日本も、高齢化社会がクローズアップされております、実際に我々の居住する所も老人が目立ちます、テレビでも、新聞にもこの特集が散見され、いかに関心が深いかが、よく理解出来ます、新聞の投稿欄を読んでも様々で、楽しく生きいきと生活している人、将来を心配し悩んでいる人があります。これらの文面を読んで思うことは、お金も、子供も、ありながら悩んでいる人、又、財も、子供も、無いながら生きいきとしている人、と、人それぞれの考え方が現れています。

今の高齢者は確かに戦中・戦後の混乱期の苦しみを経験して来た人達で、これからのんびりしたいと、思っているが物価の高騰や健康のことや将来のことを考えると気が滅入ってしまうのかわれません。

山口県に『自然の泉』と言うところがあります。山が此処の先生の本の中で『福祉の理想郷とは』の中に、次のようなことが書かれています。

一、健康  
自分の力で生きていくという思い上がりの強い頑固者は生かされ生きていく素直な心境にならない。生かされている素直な心境に、自然治癒力が湧いてくる。

栄養食をいくら取っても心に、不安・心配・焦り・嫉妬・憎しみが住んでいる限り健康は保てない、人間は肉の塊ではない、肉体に栄養を送ると同時に、心にも栄養を送れ、薬を飲む前に、笑いを取り戻せ、心丈夫に快活に生きよ、健康の扉が開かれる。

二、幸福

世の中が便利になり、物質が豊かになっても感謝と喜びの無い者は不幸だ。生命の真実目覚めて生きる者のなんの屈託もない笑顔を身よ仕事に生きがいを見いだす者は、苦しくても苦しさにこだわらない。

明るい前途を夢見て歩き続ける、仕事があれば・健康であれば・持ち家があれれば・子供がいれば幸福だと言う。だが、仕事も健康も持ち家もあり、子供もいながら、不平・不満・愚痴をこぼす者がいる。

出世の栄光に慣れて、努力することは悪いことじゃない。憧れるだけで、なにもしないことが悪いのだ。

三、繁栄

今日の成功は、過去の積み重ねの成果である決して未来の保証にはならない。今、何をしているかが、最も大切である。裕福で、甘え頼り根性が出ることもある。

貧しさの中には、自立心を養う者もいる。人生は環境ではない、人の体験談は参考になるが、人のマネばかりでは進歩がない。

自ら立つ実践が、確かな道を開く。忍耐・辛抱努力を当たり前だと歩んで行く者に、生き抜く力が湧いてくる。繁栄の道が開ける。我欲が強ければ迷いも大きい。我欲を捨て、素直に生きよ。正しい決断力が生まれる。力まない積極道を落ちついて歩め。

ただ『ありがたい』そのことが念仏であり、題目であり、祈りである。

四、生命

『信』なき者は寂しい・永遠の生命を信じていまの生を素直に生きて行く者は幸福である。

見栄・体裁・格好をつけなくなって初めてホンモノの仕事が出来る。生きる喜びが湧いてくる。人生を救う感じたり、恐がったりするのは、損得だけで生きるからだ。

(世 ひとつ)

宇宙は一体だ。どこにも損得はない。自分に来ること・やれることに、誠をつくして、愉快に生きよ。

人のことはよく目につくが、自分を知らない者がいる。自信がないからだ。自分を生かし伸ばすことに、もっと懸命になれ。人生は苦であるが、苦しむために生まれて来

たのではない。自分から進んで周囲を明るく楽しくするくらいの肝が坐っていないと、おもしろくない。雑草は踏まれて、広く深く根を張り伸びているじゃないか。人は耐えて・鍛えられ成長して行く。才能がない、と嘆くな。頑張りが劣っていることを、恥じよ。

五、円満

出る杭は打たれると、首を引っ込めてはダメだ、人の出番には惜しみ無く拍手を送れ。

自分の出番には、堂々と出よ。人間はもちつもたれつ仲良く、人間は互いに迷惑をかけあって生きている。迷惑のかけあいを、助け合い・生かしあい・と知るところに、人間のすばらしさがあり、生の歩みがある。

非行児の育つ家庭には、家があっても、広い心の庭がない。多くの病氣・災難は家庭のもめごとから起きてくる。ちよびりの気兼ねと、大きな感謝で許しあえ。

家庭を明るくせよ。

☆腹を立てるより、家を建てよ。

☆悪い木に・悪い実、良い気に・良い人生。

☆厄年は人間成長の節、愈、躍進の躍年。

☆果報は寝て待つのではない、練って待て。

☆三つ子の魂・百までではない、水子の魂・百まで。

☆意志の上にも三年。

☆道を楽しむ道楽、道を踏み外す道落。

☆人生ナニクソで開け、ヤケクソで沈む。

☆カンシャクのクの字をとって、感謝の日暮らし。

☆八方美人の終わりは、八方ふさがり。

☆日々是好日は難しい、日々好奇心ならでき

る。

☆親に頼らず便り出せ。

☆シワを寄せる老人の笑顔に幸せが広がる。

☆人生に優遇賞はいらない、努力賞があれば良い。

☆学歴を恥じるより、教養なきを恥じよ。

浅尾法灯 著より

松岡 良明記

◎ 編集後記

昨年、年初・シャープ株式会社の新年・賀詞交換会・当日、社友会会員の賛同により広島支部設立に向け活動を開始し、会社並びに、社友会本部のご理解、ご援助により昨年七月正式に発足することが出来ました。

その後、近郊会員の交替制にて日直当番を実施し、日直当番出勤日には当番者以外の会員が陣中見舞いではないが、入れ替わり社友会室への訪問があり、会社休憩時間には、現役社員の訪問もあり、又、今回の社友会・広島支部会報『ひびき』発行の為の編集会議には、校正・コピー等に、ボランティアを頂き喧嘩々々と、口やかましいが親しい同志との楽しい時間を過ごしております。

今回、会報・第二号を発行するにあたり、提供頂いた原稿が多く、B4版・四頁となりましたが、今後定期的に(三ヶ月に一回程度)B4版・二頁を規準に、発行する予定でありますので、会員の方は勿論社員の皆様の原稿提供をお願い致します。

尚、会運営・会報内容等にご希望・ご要望等が有りましたら、事務局まで一報ください。

◎ 文庫本の書庫ができましたのでご利用願います。

(阿川氏より約百五十冊の有名作家・推理小説の提供を頂きました。)  
◎ 電化商品の購入は、シャープ従業員販売をご利用ください。  
又、購入実績については本部へ報告しますので、支部宛連絡ください。

広島支部・編集部より

